

Q₀ 岡義博法律事務所報 第64号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
TEL (087) 821-1300
FAX (087) 821-1833
MAIL oka-law@kln.ne.jp
HP <https://www.oka-law.com/>

救世主

所長 弁護士 岡 義博

日本では少子化、高齢化が止まらない。少子化について、政府は異次元の少子化対策を講じると言うがどこまでできるか。少子化の危機が叫ばれて何年になるだろうか。子供の出生率の減少は進むばかりである。

抜本的な対策を講じるというのなら、国は他の予算を削って少子化対策に振り向けてはどうだろうか。防衛費（軍事費）の削減である。現在、日本だけではなく世界中の国々で莫大な軍事費が使われている。この軍事費を削り、少子化対策や福祉に向けられたら、どれほど世界中の人々が助かるだろうか。

どこの国でも軍備を持つのは他国から自国を防衛するためであると言う。自国から侵略をする意図はないと言う。世界中の国々が他国を侵略する気はないと言うのなら、各国は軍事費を削減しても問題はないのではないか。

具体的な案として、世界中の国がどのような合意をしてはどうか。①新しい兵器の開発はやめる。②現在の軍事費の1割づつを毎年削減してゆく。これにより10年で軍事費は0になる。減ってゆく軍事費を年々少子化対策や福祉の予算に廻して増やしていく。世界中の人々が喜ぶであろう。軍事費がいきなり

0になるのではないので、既存の兵器の補修などの予算は確保できる。従って、軍備は必要だという人も少しは安心できるだろう。③軍事費予算が0になった後の10年は、元々あった兵器を削減してゆく。毎年1割づつ削減すれば、10年で世界から兵器はなくなってしまふ。世界平和も実現できるというものである。福祉も充実するので言うことなしだと思うが、どうでしょうか。

このような考え方は、現実的でなく絵空事だ、と言う人もいるであろう。ウクライナや北朝鮮などの現状を見る時、実現するのは不可能と考えるのも無理はない。しかし、人類史上これまで、このような試みをやったことはないであろう。声を上げてみなければ分からない。世界の指導者で本気で取り組む人はいないのか。世界の指導者でも、軍事費に予算を使うよりは、本当は福祉に予算を使いたいと思っている人は、結構いるのではないのでしょうか。誰かこの試みを推進して下さい。

これを実現することができれば、その人はノーベル平和賞どころではない。人類の救世主となれますよ。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス（Themis…ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します）を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

Q、審判というのはどういうものでしょうか？

A、固い言葉でいえば、家庭裁判所が最終的な判断を示すという事です。裁判所が結論を出してくれる、と言ってもいいでしょう。

Q、審判ではどういうことをするのか？

A、当事者が言い分を言ったり、資料を提出したりします。調停段階で既に言い分や資料は出ていますが、それに加えて主張や資料を出すこともできます。

固い話をする、審判は、本来、職権主義的に、裁判所が主導権を持って進める制度ですが、実務では永年にわたって、当事者が主張を出したり、資料を出したりする慣行が行われており、当事者主義的な運用が定着しています。このような運用の方が当事者も納得がいくでしょう。

Q、審判が出たらどうなるんですか？

A、審判に対して不服があれば、不服申立することができます。審判が確定すれば、当事者は審判で定められた内容を実現することができます。例えば、〇〇の土地・建物は相続人のXに、△△銀行の預金は相続人Yに分割するなど判断してくれます。この審判書を元に分割された内容を実現できるということです。そこで、紛争の解決ができるわけです。

但し、遺産分割の前提問題（相続人で

あるか否か、相続財産であるか否か、遺言が有効か無効か、遺産分割協議が有効か無効か、など）は訴訟事項とされており、審判が確定しても、訴訟で争うことができるかとされています。例えば、審判が確定したとしても、後に相続人であるという人が現れたら、相続人であるかどうかを訴訟で争うことはできるということです。

Q、審判について、その他に知っておいた方が良いことはありますか？

A、裁判所は、審判前の保全処分をすることができます。遺産分割で言えば、審判をする前に仮差押、仮処分などをすることができます。

審判をする前に、調停に代わる審判をする制度もあります。これは、調停が成立しなかった場合に、当事者双方の衝平のために裁判所が解決案を示す制度で、284条審判と呼ばれています。調停の延長線上にあり、最終的な解決案の提示という側面があります。この審判に対しては、不服申立ができますが、不服申立しなかったり、不服申立しても通らなかった場合は、通常の審判と同じ効力が生じることとなります。



教えて法律シリーズ(3) 相続(続)ー審判

O que sera, será, será ♪なるようになる♪

事務局 M・K

事務長 (母)が昨年10月に急逝して、あっという間に半年が経ちました。母のコーナー(高松ウォッチング)では、いつも母が起こしたとんでもない失敗談や面白エピソードをご紹介していました。「あんな撮れ高(?)のあるコーナー、とても真似できない〜！」と私たち事務員の間でもプレッシャーがかかっています(笑)

亡くなった後に母のお友達の方と話す機会が沢山あったのですが、不思議としんみ

りした空気にはならず「あの時、悅ちゃん、あんな可笑しな事してたよね〜」とか「ほんとに面白い人だったよね！」と最後には大体明るい雰囲気です。これも母の人柄のなせる技だな〜と、改めて、楽しい人だったなと思うのでした。

この記事を書いている今日は、ちょうど母の誕生日(3/27)です。思い出を振り返るにはピッタリの日でした。



八十八ヶ所巡り

その27

82番根香寺(ねごろじ)。五色台の青峰(あおみね)に建つ。深い緑に包まれて荘厳な感じを受ける寺である。入唐前の弘法大師が五大明王を祀り花蔵院を建立したのが寺の始まりとされる。その後、大師の甥の智証大師が、霊木で千手観音を彫り、これを本尊として千手院を開いた。この2つの院を総称して根香寺と呼ばれる。本尊の霊木の切り株が芳香を放っていたのが根香寺とされた由来とされている。



山門を入ると石段を降り、石段を登って本堂へ向かうことになる。本堂へはコの字型の回廊を回っていく。回廊には信者が寄進した33,333体の観音像が祀られている。ご本尊は千

手観音菩薩で、桜材の一木造りとされる。秘仏であり33年に1度開帳される。

境内にはカエデの木などが多くあり、秋には全山が赤く染まる。県下有数の紅葉の名所である。

また、「牛鬼(うしおに)伝説」でも知られる。400年ほど昔、牛鬼という怪物が里に現れ人々を苦しめていた。そこで弓の名手山田蔵人が寺に願掛けをして、牛鬼を射止めたとされる。寺には牛鬼の角が奉納されているという。駐車場の脇に牛鬼像が立てられている。



青峰や 紅葉に早し 深緑

(Y・O)



ちよつとひといき

妹の夫は釣り好き。友人の船で沖釣りに行くので、私の所にも時々お裾分けが頂ける。

今回は鯛と鱸。鯛は西京漬け、鱸はアクアパツァもおいしいよとアドバイス付き。言われた通り、西京漬けとアクアパツァもどきの貝なしバージョン(いや、アクアパツァと言うより冷蔵庫にあった残り物を使ったアヒージョ)を作る。それと鱸の刺身、更に鯛のアラを使った味噌汁を作った。この日のナンバーワンは鱸の刺身。アヒージョより刺身を多めにすれば良かったと後悔するくらいとても美味しかった。

前回頂いたのは鰯のブロックと内臓(心臓、胃袋、卵)だった。鰯の内臓を頂くのは初めてだ。

いつも通り喜んで受取ったものの・・・
妹夫婦が帰った後、内臓の入ったボールの中を



事務局 K・K

覗くと、やっぱりグロテスク!見た目にテンションは一気に下がる。どうしよう、調理は無理かも。実は鶏皮やホルモンなど見るのも食べるのも苦手。受取ったばかりなのに申し訳ないが捨てようかと逃げ腰になる。いやいや、妹の旦那は丁寧に血抜きをして渡してくれたんだ。いつも食べ方のアドバイスまでしてくれる。そう思い直し、見ないようにして沸かしたお湯に放り込んだ。湯通しすると見た目も落ちついたの後は大丈夫。甘辛い煮付けができあがり。勇気を出した甲斐があり、おいしい。日本酒に合う。丁寧な血抜きのお陰で全く臭みも無い。捨てなくて良かった。ちょっとした苦手の克服で新しい味に出逢えた。命を頂く意味でも感謝して合掌、ご馳走様。

外部の方から投稿して頂いた原稿です

~~Fight OH!~~

事務局 K・N

2月より事務局で、働かせていただいています西村和代です。よろしくお願ひします。

こちらの求人を知ったのは、同じ事務局の北濱さんから知人の方を通じてでした。

私は、直ぐに北濱さんに電話をかけて一通りの説明を受けたあと、氏名(和代は昭和の和)連絡先など伝えた。すると、「名前が私と一緒に、漢字も同じ!でも、令和じゃなくて昭和の和って言うところは世代やね〜。」と言われ、思わず絶句。

しまった!まったく頭の片隅にも出てこなかった令和の和…その後、2人で大笑い!!

法律事務所では和暦を遣うので彼女にはごく普通のことのようなのでした。

私は笑いながらも恥ずかしくて赤面でした。

その後、何とか採用して頂き、事務局の一員となれましたが忘れられないエピソードとなりました。